

# 初の全国交流研修大会

## エコアクション21

中小企業など向けの環境マネジメントシステム構築支援制度「エコアクション21」(EA21)を運営する地球環境戦略研究機関・持続性センター(ICES・CFS)は先月二十九、三十の両日、初の全国交流研修大会を山形市のホテルメトロポリタン山形で開催した。認証取得企業のほか、企業の取り組みを審査する「審査人」や各地域事務局、自治体の担当者など関係者約三〇〇名が参加。今後の環境取組のあり方や、その中で果たすべきEA21の役割などについて、活発な議論がなされた。

大会初日には、国連大 素崎らしい技術を持って学部の安井至副学長や環境は、OSRなどの省総合環境政策局長環境取組は十分浸透して済課の鎌形浩史課長による基調講演のほか、「形式的・箱庭的」環境保全活動からの脱却「エコアクション21」の目指すべき道」がテーマのパネル討論などを実施。環境調査研究会の後藤敏彦代表幹事が「国内の中小企業は

関係者ら約300名が一堂に会し、今後の役割などについて議論した



## 山形市で盛大に開催

関係者ら約300名が一堂に会し、今後の役割などについて議論した。また、二日目は、産

実施していくとともに、それが社会や市場からきちんと呼び求められるような環境を整備していきな

の三島通世統括マネージャーが「ROHS指令などサプライチェーン全体での環境管理体制が求められ、EA21などを

業務廃物処理業者行政、流通・サービス業、判定委員会及び地域事務局など各業種・分野別に、具体的な審査事例や課題な

EA21の認証・登録件数は先月末現在、八八一件に上る。その伸びはISO14001やほかの

活用し管理強化を進めていかねばならない」などと期待を寄せた。

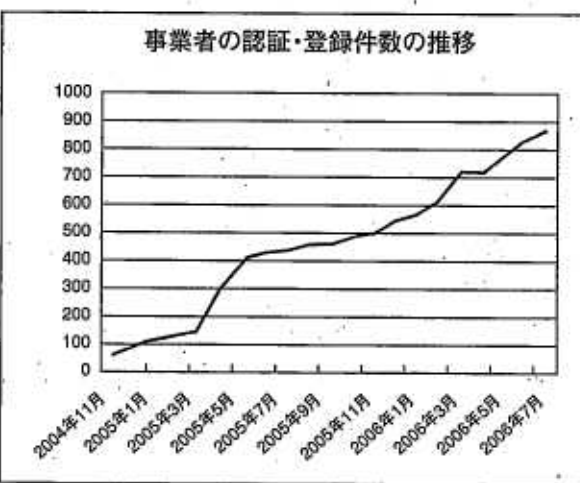
# 関係者一堂に活発な議論展開

論などを実施。環境調査研究会の後藤敏彦代表幹事が「国内の中小企業は

△なども展開。今年度、自治体や各業種向け「E A 21 地域事務局」が事務局長を担当し、関係者ら約300名が一堂に会し、今後の役割などについて議論した。

中央事務局の竹内恒夫事務局長は「パフォーミング・コミュニケーション」を重視する点で、ISO14001とは異なる

取引先から信頼を得る。取引先から信頼を得る。取引先から信頼を得る。取引先から信頼を得る。



産廃業者の優良化など絡み

# 今後一層の普及へ

関係者ら約300名が一堂に会し、今後の役割などについて議論した。

関係者ら約300名が一堂に会し、今後の役割などについて議論した。